

ふれあい遊び研究会 活動報告

中山 正 剛

1. ふれあい遊び研究会の活動について

私たち「ふれあい遊び研究会」は、2021年度は「2年生3名、1年生8名（計11名）」で活動をしてきました。オペレッタ公演を中心に活動しており、今年度は、3種類のオペレッタを演じることができました。活動日、活動場所、活動内容については以下の通りです。

- (1) 活動日：毎週水曜日13:00から
- (2) 活動場所：442教室、3号館ホール
- (3) 活動内容：保育所・幼稚園・こども園でのオペレッタ公演、フェスティバルでの公演

2. 2021年度の主な活動スケジュールと活動内容

ふれあい遊び研究会の1年間の活動スケジュールと活動内容を以下に示します。

月日	活動内容
4/21	研究会紹介（その後、入会希望者歓迎会）
7/21	めぐみ保育園オペレッタ公演 （クレヨンのクロくん・大きなかぶ）
8/21	オープンキャンパスの学生スタッフ（6名）
12/1	Winterフェスティバルでのオペレッタ公演（金のガチョウ）
12/23	劇団立見席による「演劇祭」でのオペレッタ公演（金のガチョウ）

3. 公演の流れ

主な公演の流れを以下に示します。

5分	はじめの言葉、導入（手遊び）
20分	【オペレッタ1】
5分	手遊び
20分	【オペレッタ2】
5分	おわりの言葉

4. 今年度の活動を振り返って

- (1) 幹部の感想（T2002173中村恵介）

私はふれあい遊び研究会の活動を通して、協力して成し遂げることの大切さを学ぶことができました。私が一年の時に、コロナウイルスの影響で練習を少ししか出来なかったり、保育園で公演をすることが出来なかったりしました。ほとんど何も出来ずに2年生になってしまい、私がリーダーになりましたが、オペレッタの内容をどうすればいいのか、役割分担をどうしたらいいのか、1年生にどうやって伝えればいいのかなどが分からず最初は困ってしまいました。しかし、中山先生から先輩達の動画を見せてもらったり、これまでの方法を教えてもらったり、1年と2年でどうしたら子ども達が喜んでくれるような良いオペレッタが出来るかについて話し合いをしたりしました。その結果、2年で初めて保育園でのオペレッタ公演をさせてもらいましたが、子ども達が喜んでくれたことがとても嬉しかったです。大学の授業だけでは得ることができなかった、ふれ研での経験を保育者として生かしていこうと思います。

(2) 顧問より (中山正剛)

コロナ禍で活動が制限され、「いつから研究会活動が出来るのか、本当に公演ができるのか」といった不安が大きい1年だったと思います。特に2年生は、入学時から同じような状態が続き、先輩が卒業した後はメンバーも少なくなり、コロナもなかなか収まらず、「もしかしたら、2年間で1回も公演ができないのではないか」という心配すらしていたと思います。その限られた状況の中で、学生自ら主体的になって計画を立て、練習し、実際に保育園での公演ができたのは、素晴らしい経験になったことと思います。2018年には、66名いたメンバーも、コロナの影響で研究会所属率も下がり、2021年の2年生は3名のみとなり、研究会の存続すら危惧されましたが、特にリーダーの中村君には助けられました。中村君の入会をきっかけに、清家君と中尾さんも入会してくれて、何とか1年生への研究会紹介を実施することができ、8名の入会があったことで、オペレッタ公演をすることができました。顧問として、これまでと異なる悩みがありましたが、特に2年生3名の頑張りのおかげで、ふれ研を「つなぐ」ことができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ぜひ、卒業後は、この研究会活動での貴重な経験を活かして、頑張してほしいと思います。

